

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。  
+++ INNOVATION

ENVIRONMENT



株主の皆様へ

## 第58期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



南海プライウッド株式会社



## ごあいさつ



代表取締役社長

丸山 徹

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに第58期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間のわが国経済は、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に緩やかな回復状態となりましたが、雇用・所得環境が改善されず、依然として厳しい経済環境が続きました。

また、住宅業界におきましては、前年の新設住宅着工戸数の落ち込みが大きく影響し、持ち直しつつありますが低調な推移となりました。

このような状況のなか、当社グループは、経営基盤の強化に取り組み、経営資源の集中、製品のコストダウン、新製品開発に傾注いたしました。販売におきましては、縮小市場のなか全力で提案営業活動にあたり売上の確保に努めました。

先行きの景気は、自律的な回復へ向かうことが期待されておりますが、海外景気の下振れ懸念や為替レート、株価の変動などにより、景気が下押しされるリスクが強まっておりますので、不透明な状況が続いていくと予想しております。

当社グループといたしましては、引き続き経営基盤の強化を進めるとともに販売製品の内容充実を図り、積極的な提案営業活動による売上の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

## 経営理念

**私たち南海プライウッドは、  
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、  
お客様の求める真の価値を創造し、  
ステークホルダーおよび社会との調和ある安定成長を実現します。**

### コーポレート ステートメント

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。  
安心・安全・快適。品質第一のものづくりを推進し、  
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、  
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、  
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために  
社会に対し3つの誓約を実践します。

# 領域へのチャレンジ

## 住宅市場の新たな

### 縮小市場でも需要は増える

ライフスタイルと共に住宅も変わります。和室は洋室に、畳はフローリングに、天井は木質からクロス張りに、そして押し入れはクロセットに。箆笥などの「置き家具」が減って、建物に組み込む「収納スペース」が住まいの主流になりました。

手狭な家の中に物があふれて「整理・整頓・収納」の本が売れています。しまいこむだけなら物入れ・押し入れで十分ですが、モノをしまうことをデザイン化した「収納ユニット収納材」が、女性の感性にフィットしていますので需要は増え続けるでしょう。キッチン、リビング、水回りなど家の内装に決定権を持つ女性は、おしゃれに便利に収納することに、お金を使うと分析しています。

### シンプルモダン

収納材で他社と違うのが「異質素材」の組み合わせです。玄関やリビング、キッチン用のユニット式収納に、内部の棚は木質で、外部にアルミや樹脂パネルを使います。異素材の組み合わせがさらに大型の新製品を生みました。アルミと木質を組み合わせた「オープン階段」です。軽快で、直線的なデザインが開放的な空間を創造する「オープン階段」は、若い世代に受け入れられました。ホームページを見て、工務店に注文する施主様が多いです。木製より値段は3倍ほど高いのですが売れるそうです。やはり決定権は、女性と推測しております。

### 市場は右肩下がりでもニーズは増える

建築内装材の売上は、住宅着工数に依存します。

成熟、多様化の時代、住宅着工数は右肩下がりですが、太陽光発電と燃料電池を合わせた省エネルギー、環境、耐震などの安心・安全や、デザイン住宅などの感性追求など、新たな領域で市場のニーズは増え続けています。私たちが新しく開発できる分野は、むしろ広がっていると思います。新製品開発はトライ&トライが当たり前で、成功確立は3割あれば良い方でしょう。開発しても売れないことが多いのですが、失敗は成功のためのステップと考えています。住宅産業の市場規模は、依然として巨大で、すそ野が広いので開発の余地は無限です。

行動規範  
理念実現のための  
3つの  
PROMISE

- 1 暮らし+INNOVATION** 安定持続社会のために企業倫理を守ります。  
ステークホルダーの安心の暮らしを守るためにCSR/コンプライアンスを経営の中核においた態勢を構築します。
- 2 心+INNOVATION** お客様の心を満たします。  
大切なお客様の笑顔を守り、信頼を築く態勢を構築します。
- 3 環境+INNOVATION** あらゆる環境の持続に努めます。  
自然・社会・人の環境持続を優先した態勢を構築します。

Renewal  
インディニ  
2→3へ  
リニューアル!

ダイニング収納 インディニ3

# INDINI3

interior style for life with

## 従来品からの機能は

### 収納がつながる家族とのコミュニケーション



インディニ3：ホワイト  
人工大理石カウンター：ホワイト



インディニ3：ブラック  
人工大理石カウンター：ホワイト



インディニ3：ホワイト  
人工大理石カウンター：ホワイト

### 扉カラーバリエーションは3種類!

※ボックス内部はすべてホワイト色になります。



ホワイト



ブラック

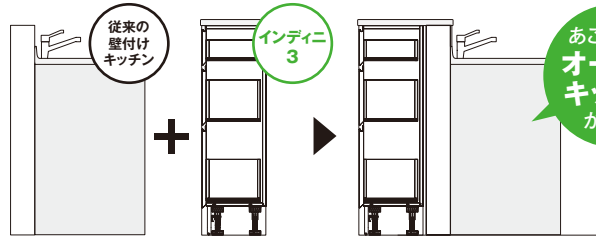


ナチュラル

# そのままに、より使いやすくReデザインした「インディニ3」。

従来品からの  
コンセプトは  
そのまま

従来の壁付け  
システムキッチンと  
組み合わせるだけで  
簡単に、しかも  
リーズナブルに  
オープンキッチンを実現!



新規パーツの  
追加でプランも  
豊富に

## ワイドフリータイプ

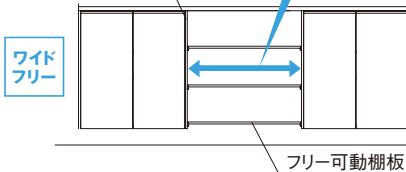
ワイド調整ができるプランが可能に!

**NEW**



フリーエンドパネル

ワイド調整可能



## ショートタイプ

収納だけでなく、カウンタースタイルも  
楽しめるプランが可能に!

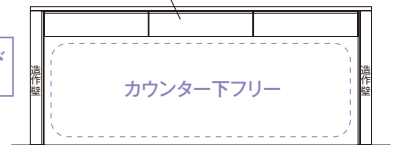
**NEW**



ショートボックス

ワイド  
定寸

カウンター下フリー



リーズナブルな  
木質カウンター  
も設定

人工大理石  
カウンターの他に、  
リーズナブルな  
木質カウンターも  
オプション設定!



人工大理石カウンター



木質カウンター

# 座 style

日本本来のスタイルである「座」を新しい形でご提案。  
「和室」を住空間に設けなくても、和室創造BOX「キャブロックLe(エルイー)」なら、BOXを連結させるだけで簡単に和室空間をつくりだすことができます。



BOX ブラック  
薄畳 アイボリー

NEW

和室創造BOX  
**CABLOCK Le**  
キャブロック Le



BOX ブラック  
薄畳 チャコールグレー

## BOX内部は収納として

### 引出し

よく使う物は引出しへ  
開口部に設置する引出しは、完全に取り出すことが可能。キャスター付で移動も簡単です。



### 可動内部収納

入れ替え・取り出しがスムーズ  
内部に設置する独立した収納ボックス。キャスター機能付で入れ替えが自由自在に行なえます。



### 床置き

長尺グッズをすっきり収納  
可動内部収納を設けずに収納スペースを確保することで、長尺ものをすっきり収納できます。



## 豊富なカラーバリエーション

BOX ボックス+関連部材



ナチュラル

ブラック

薄畳  
い草畳



アイボリー

リーフグリーン

チャコールグレー

い草畳



BOX ナチュラル  
薄畳 アイボリー



BOX ナチュラル  
薄畳 リーフグリーン

## 当第2四半期累計期間の概況

当社グループでは、住宅需要の低水準のなか積極的に提案営業活動を進め売上目標の達成に努めました。

木材関連事業におきましては、拡販製品である収納材を重点に顧客の細やかなニーズに対応した結果、収納材のVシリーズ、枕棚Cハンガーパイプ、アートランパー、オーダーメイド収納「オオ」やオーダーメイドパーティション「オドア」、ミラー扉壁厚収納「ミロート」、および床材の「ビートメイプル」が売上増加に寄与いたしました。当セグメントの売上高は45億65百万円、セグメント利益は23百万円となりました。

一方、電線関連事業につきましては、建設業、電気工事事業共に厳しい状況が続き、熾烈な受注競争、値引き競争が繰り返される状況にありました。当セグメントの売上高は6億36百万円、セグメント損失13百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高52億2百万円、営業利益10百万円、経常利益21百万円、四半期純損失27百万円となりました。

## 通期の見通し

景気の回復力が弱く円高やデフレによる不透明感が漂う状況のなか、新設住宅着工戸数は持ち直しつつありますが低調な状態が続いていくと予想しております。

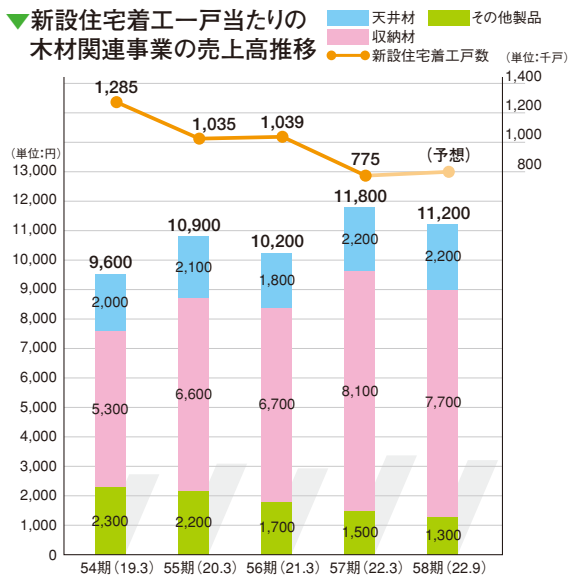
当社グループといたしましては、引き続き経営基盤の強化に努め、グループの業績回復に全力で取り組んでまいります。

木材関連事業におきましては、一戸当たりの売上高の増加を図るため収納材製品を中心とした拡販製品のホームビルダーへの提案営業活動を継続し売上目標の達成に全力を尽くしてまいります。また、製造部門では、製品加工の集約化、効率化、内製化等によるコストダウンに取り組んでまいります。

一方、電線関連事業につきましては、競争激化の非常に厳しい状況にありますが、全社をあげて建設物件獲得に向け積極的な営業活動を展開してまいります。

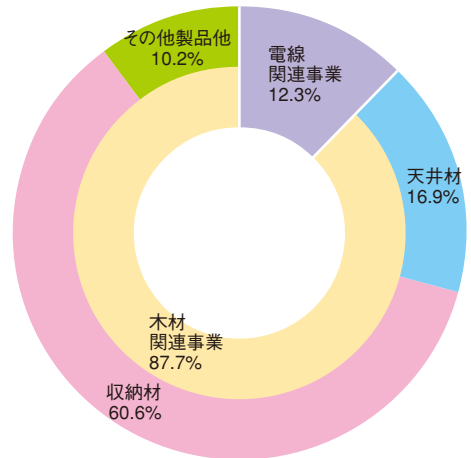
通期の連結業績は、売上高110億円、営業利益1億円、経常利益2億30百万円、当期純利益80百万円になるものと予想しております。

### ▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

### ▼セグメント別の連結売上高構成



## 連結財務諸表の要旨

## 連結貸借対照表

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
<b>■資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>8,623</b>	<b>9,017</b>
現金及び預金	2,062	2,073
受取手形及び売掛金	3,982	3,969
商品及び製品	666	668
仕掛品	496	546
原材料及び貯蔵品	1,172	1,432
その他	301	396
貸倒引当金	△59	△69
<b>固定資産</b>	<b>8,360</b>	<b>8,424</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>6,938</b>	<b>7,064</b>
建物及び構築物	1,776	1,844
機械装置及び運搬具	557	642
工具、器具及び備品	41	44
土地	4,489	4,498
建設仮勘定	74	34
<b>無形固定資産</b>	<b>124</b>	<b>125</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,297</b>	<b>1,234</b>
投資有価証券	529	596
長期貸付金	152	—
その他	615	638
貸倒引当金	△0	△0
<b>資産合計</b>	<b>16,984</b>	<b>17,442</b>

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
<b>■負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>1,231</b>	<b>1,662</b>
支払手形及び買掛金	575	803
短期借入金	—	100
未払金	227	342
未払費用	72	63
未払法人税等	27	14
未払消費税等	53	82
賞与引当金	116	93
デリバティブ債務	41	91
その他	117	68
<b>固定負債</b>	<b>205</b>	<b>229</b>
退職給付引当金	138	149
役員退職慰労引当金	10	10
環境対策引当金	4	—
資産除去債務	12	—
その他	39	70
<b>負債合計</b>	<b>1,436</b>	<b>1,892</b>
<b>■純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>15,616</b>	<b>15,692</b>
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,758	11,833
自己株式	△128	△127
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△92</b>	<b>△178</b>
その他有価証券評価差額金	△37	2
繰延ヘッジ損益	△24	△55
為替換算調整勘定	△30	△126
<b>少数株主持分</b>	<b>23</b>	<b>36</b>
<b>純資産合計</b>	<b>15,547</b>	<b>15,550</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>16,984</b>	<b>17,442</b>

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	5,202	5,285
売上原価	3,522	3,867
売上総利益	1,680	1,418
販売費及び一般管理費	1,669	1,558
営業利益(△営業損失)	10	△140
営業外収益	78	69
営業外費用	66	95
経常利益(△経常損失)	21	△165
特別利益	17	18
特別損失	27	1
税金等調整前四半期純利益(△純損失)	11	△149
法人税、住民税及び事業税	33	27
法人税等調整額	7	△83
少数株主利益(△損失)	△3	2
四半期純利益(△純損失)	△27	△95

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	316	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148	△48
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	20
現金及び現金同等物の増減(△)額	△8	△41
現金及び現金同等物の期首残高	2,062	1,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,054	1,069

### ■ 損益ポイント

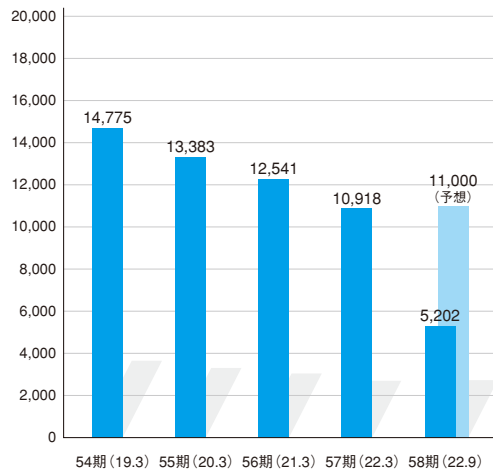
前年同期に比べ

売上原価率が5.5ポイント改善して

売上総利益率が32.3%となっております。

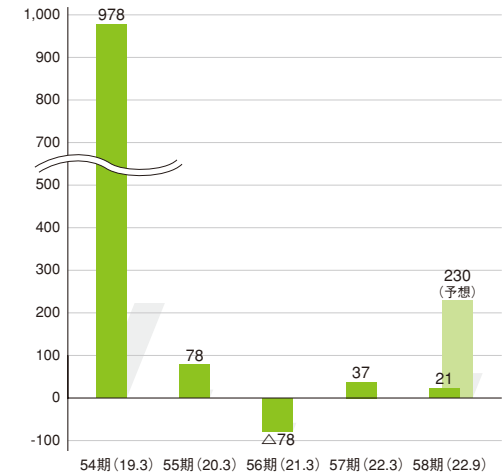
## ▽ 売上高の推移

(単位:百万円)



## ▽ 経常利益の推移

(単位:百万円)



# 植林事業

Thanks Earth. Thanks People.



## ECO-RING SYSTEM SUSTAINABLE REPORT

私たちは今ある環境問題をグローバルな視点で捉え、地球温暖化対策や二酸化炭素削減、自然資源の有効利用および持続可能な環境の創造を目指して、早生木ファルカタの特性を活かした循環農耕型の植林事業 ECO-RING SYSTEM (緑の循環システム) を積極的に推進しています。

### 7年後の大きな成果のために、小さな種を蒔いています。

小さな苗木がわずか7~8年という短い期間で直径40~50センチの巨木へと生長し大きな森林を形成します。森はCO<sub>2</sub>を吸収・固定し、酸素を作り環境を整えます。

私たちが推進するファルカタ植林は、地球環境保護・保全の意味でもサステナブルな発想のシステムだと考えます。小さなファルカタの芽には、環境を改良する大きな力と可能性が秘められています。

#### \* 変遷と現状

##### [第1フェーズ]

2006年インドネシア・カリマンタン中部の休閒地を活用し、試験的に運用を開始しました。

##### [第2フェーズ]

2009年よりインドネシア・東部ジャワの「バレ地区バナラン」「マラン」「ルマジャン」を3拠点として植林事業を新たに展開推進中。第1・第2フェーズ合計、延べ約40haの休閒地を開墾から始め、苗の植付けを完了しました。現在も順調な成育状況で、2013~2016年を目標に伐採・製品化に向け環境管理の維持に努めています。

#### \* 今後のビジョンと展開

##### [第3フェーズ]

第2フェーズ完了までは、様々な課題へのテスト運用期間と定め現状規模の面積で調査を続行します。その結果判断を受け、第3フェーズ以降は当社の年間生産量のすべてをまかなえる55ha分の新規植林に毎年トライし、完全自社生産による原材料調達システムを構築する体制に移行します。

##### [第4フェーズ]

更なる安定生産と森林環境整備を図るために、ファルカタ以外の樹種やその他の作物育成についての試験運用も含め最終的には自然環境に近い植林形態を目指し拡大化していきます。更にこれまでに得たノウハウを活かし地域の経済的な活性にもつながるアグロフォレストリーによる農産物等の育成支援協力体制もビジョンに入れていきます。

[当社既存植林地マップ]



● = 既存植林地 合計面積約40ha

## 株式の状況

(平成22年9月30日現在)

### 総数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	10,095,800株
株主数	740名(前期末比2名増)

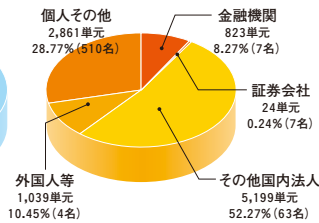
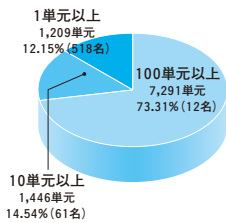
### 大株主

株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.36%
財団法人南海育英会	1,554	16.03
SIX SIS LTD.	604	6.23
株式会社百十四銀行	467	4.82
丸山修	344	3.55
株式会社愛媛銀行	243	2.50
CLARIDEN LEU LTD	203	2.09
SOCIETE GENERALE NRA NODTT	146	1.50
南海プライウッド従業員持株会	144	1.49
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.32

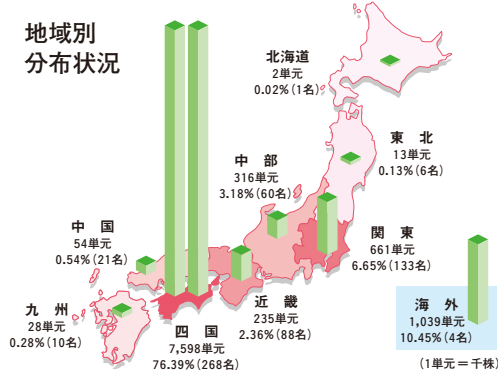
(注)当社は自己株式403,229株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

### 所有単元数別分布状況

### 所有者別分布状況



### 地域別分布状況



## 会社概要

(平成22年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社  
 本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号  
 電話 087 (825) 3615

インターネットホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日  
 資本金 21億21百万円  
 従業員数 367名(連結1,053名)  
 事業内容 建築内装材の製造・販売  
 事業所 志度工場  
 〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地  
 物流センター  
 〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1  
 朝日新町倉庫  
 〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号

## 役員

(平成22年9月30日現在)

代表取締役社長 丸山 徹 常勤監査役 高松 幸雄  
 取締役・執行役員 小紅 正晴 監査役 大川 俊徳  
 取締役・執行役員 藤村 岳志 監査役 岩部 達雄  
 取締役・執行役員 正箱 孝史 監査役 村田 剛  
 取締役・執行役員 丸山 宏 執行役員 小野 彰三  
 取締役・執行役員 玉置 康洋 執行役員 蓮井 孝治  
 執行役員 松浦 義博

## 連結子会社

(平成22年9月30日現在)

木材関連事業 南海海運株式会社  
 PT.NANKAI INDONESIA  
 SENTUHAMONI SDN.,BHD. ※  
 EDA KILANG PAPAN SDN.,BHD. ※  
 ※清算手続き中

電線関連事業 ナンリツ株式会社

## 持分法適用関連会社

(平成22年9月30日現在)

一般管工事業 南海化工株式会社

## 株主メモ

- 事業年度／4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会／毎年6月に開催いたします。
- 基準日／定時株主総会の議決権 3月31日  
    期末配当 3月31日  
    中間配当 9月30日  
    ※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法／電子公告により当社ホームページに掲載いたします。  
    ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所／大阪証券取引所 市場第二部(証券コード7887)
- 単元株式数／1,000株

当社の株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関である株式会社だいこう証券ビジネスは、平成23年1月1日をもって、会社分割により三菱UFJ信託銀行株式会社へ証券代行業務を移管いたします。  
つきましては、株式に関する各種お問合せ先等が以下のとおり変更となります。

### 平成22年12月30日まで

- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関  
株式会社だいこう証券ビジネス  
【郵便物送付先／各種お問合せ先】  
〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
株式会社だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター
  - 株式事務に関するご照会 電話 0120-255-100 (通話料無料)
  - 特別口座に関するご照会 電話 0120-351-465 (通話料無料)〔受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日を除く)〕

### 平成23年1月4日以降

- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
【郵便物送付先／各種お問合せ先】  
〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
  - 各種事務に関するご照会 電話 0120-255-100 (通話料無料)〔受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕



南海プライウッド株式会社